

青森市匠の職人（令和三年度受賞）

おがさわら

いくこ

小笠原 郁子（美容師・衣装着付師）

一生に一度の晴れ舞台を彩る



取材レポート  
老舗婚礼美容室の娘として生まれ、小さな頃から毎日のように着付けの現場を見ながら育った小笠原さん。

短大で造形美術を学んだ後、東京の美容室で3年半ほど修行を積み、昭和56年、青森へ戻ってきました。この頃は、祖母（初代）、母（2代目）からの指導を受けつつ、何度も失敗しながらひたすら研鑽を積み続けたと言います。速く、美しく着付けるためには、土台を作る時点で完成形がイメージできていなければならず、初めの頃は苦労の連続。毎日鍛錬に明け暮れる日々だったそうです。

そうした弛まぬ努力が実を結び、小笠原さんは県の技術選手権大会の優勝を経て、全国大会出場を果たし、遂には美容界で最高の権威を誇る「千葉益子賞花嫁着付けコンクール」で菊花賞を受賞するなど、全国トップレベルの職人と認められました。

その後も技を磨き続け、現在は創業100年を迎えた美容室の3代目として活躍なさっています。室町時代に確立され、時代を超えて現代まで受け継がれてきた伝統の技法を次の世代へ伝えていくため、積極的に研修講師を務めるなど、後進の育成にも尽力している。一方で、若手技術者は感性が鋭く、指導する中で自分が新しい気付きを得ることもあり、お互いにメリットがあると思う」と嬉しそうに話す小笠原さん。伝統は守りつつも、常に新しいものもどんどん取り入れ、時代に合った斬新な帯結びの考案などに余念がありません。

伝統は勿論大事だけど、着ていただく方の喜びも大事」。そう話し、伝統と今の感性を見事に調和させる匠の職人が、一生に一度の晴れ舞台を美しく彩ります。



- 主な受賞歴
- 91年 第29回県美容技術選手権大会 花嫁着付けの部 優勝
  - 92年 第12回百日草紅の花賞 花嫁化粧全国コンクール 臍脂賞
  - 94年 千葉益子賞 花嫁着付全国コンクール 菊花賞

問い合わせ先 おがさわら美容室  
〒030-0812  
青森市堤町一丁目1番6号  
TEL 017-722-4004